

花園大学 事務職員のおすすめ図書

v.1.0 2016 MARCH 新入生歓迎号

花園大学の事務職員が選んだ、皆さんにぜひ読んで欲しい本のリストです。推薦コメントと一緒に図書館1階の「おすすめ図書コーナー」に配置してあります。貸出することもできます。貸出期間は1週間、貸出延長はできません。

花園大学情報センター(図書館)



禅の名僧に学ぶ生き方の知恵

横田南嶺著

致知出版社

2015

大学改革・IR推進室
事務職員

吉田清



キッチン

吉本ばなな [著]

角川書店

1998

総務課 事務職員

藤岡裕子

<請求記号>

189.28/Y 78

無学祖元、無窓疎石、正受老人、白隠禅師、誠拙周樗、今北洪川、釈宗演。願いに生きた7人の禅僧たちの生き方を円覚寺管長が語り尽くす禅僧列伝。情報や物が溢れる現代にあって、本当に大切なことは何かを呼び覚まし、生き方を学んでほしい。

<請求記号>

角川文庫/よ-011-008

吉本ばななさんが世の中に認知されたのがこの作品です。初めて読んだとき、冷蔵庫のそばでやっと安心して眠れる...この場面が印象的でした。そのあとの物語の展開はすっかり忘れていて、先日読み返してみてもびっくりしてしまいました。ちょっと時代を感じて...。でも、そのことはあんまり重要なことではなくて、大事なものは吉本さんの作品を読むと、楽しいことも幸せなことも信じられないくらい不幸なこともよくないことも、なんとかなるかもな~と思えることです。人生にはいい時も悪い時も必ずあるし、鬱々と過ごす時間も考えすぎて身動きの取れないこともままあるものです。そんなときに、この作品に限らず吉本さんの作品に触れるとちょっと気持ちが楽になるような気がするので、サプリメント的に人生のお供としておつきあいしていくのもいいのではないかと思います。なお、ペンネームは変遷があってひらがなだったりカタカナだったりいろいろの表記があります。



嫌われる勇気：自己啓発の源流「アドラー」の教え

岸見一郎, 古賀史健著

ダイヤモンド社

2013

総務課 事務職員

石野翼

<請求記号>

146.1/Ki 58

2014年にベストセラーになった本書ですが、書名から「どうせ、嫌われてもいいから、自分をしっかり持ちなさい」というような内容でしょ」と穿った先入観を持っていました。が、読み進めていくと本書が全く違ったものであることがわかります。本書は心理学者のアルフレッド・アドラーの思想を紹介する本ですが、生きていく上で苦しいこと・つらいことにどう向き合っていくべきかのヒントがちりばめられていると思います。



歴史の愉しみ方：忍者・合戦・幕末史に学ぶ

磯田道史著

中央公論新社

2012

総務課 事務職員

山口洋子

<請求記号>

中公新書/2189

映画『武士の家計簿』といえば、学生のみなさんも一度は耳にしたり、実際に見たことがあるかもしれません。本書は、その原作者が歴史学の愉しさや面白さを記した本になります。著者は、全国を巡り埋もれた古文書を発掘していきます。その中には、著者自身の先祖や忍者の履歴書、漫画家・手塚治虫の先祖が書いた古文書なども登場します。古文書をひも解くことで、歴史を作り上げてきた名もなき人々や、歴史の奥深さを知ることができます。古文書を読む大切さや楽しさに気づかせてくれる。本書はそんな一冊です。



心を軽くする超戦略的「人間関係」論：万年補欠の僕が17年間生き残れたワケ

小田幸平著

ベストセラーズ

2016

教務課 事務職員

菅江隆一

<請求記号>

361.4/O 17

元プロ野球選手が書いた著書は意外と多い。その内容は、一流選手や名監督の自叙伝である。この本の著者、小田幸平さんもいわゆる元プロ野球選手だが、控えの選手で一流選手でも名監督でもない。そんな彼が17年もの間、プロ野球選手でいられた要因とは？ただの自叙伝ではない、人付き合いのポイントを教えてくれるそんな一冊。野球好きだけでなく、新たな出会いに溢れている新入生みなさんにおススメ



破船

吉村昭著

新潮社

2012

学生課 事務職員

藤井智

<請求記号>

新潮文庫/よ-5-18

「破船」は恐ろしくも悲しい物語です。「お船様」と呼ばれる伝承は能登半島などに実際存在しました。「食うためのみ生きた」人間、否定も肯定もできない厳然たる事実に基づいた異色の長編小説。

寄船(よりふね)とは、中世・近世の日本における遭難による漂流船・漂着船及びその搭載物のこと。これに対して漂流物一般を寄物(よりもの)と称し、古代からそもそも船の遭難そのものを神罰として捉え、漂流船・漂着船は発見者・救出者によって略奪・捕獲の対象になると考えられてきた。二冬続きの船の訪れに、村じゅうが沸いた。嵐の夜、浜で火を焚いて、近づく船を座礁させ、積荷を奪い取る——僻地の貧しい漁村に古くから伝わる、サバイバルのための過酷な風習“お船様”が招いた海辺の悲劇を描いた異色の長編小説です。



てんからのおくりもの

かなざわまゆこ作
射水市大島絵本館 2012

学生課 事務職員 **道家尚美**

<請求記号>

726.6/Ka 48

「おおしま国際手づくり絵本コンクール 2011」(射水市大島絵本館)最優秀賞・文部科学大臣賞に選ばれた「きみのいる家」が、「てんからのおくりもの」として出版されたものです。大好きだった叔父の一周忌の旅先で立ち寄った美術館で出会いました。母鹿からはぐれて迷ってしまった子鹿ですが、偶然出会った白いテンが、優しい眼差しで子鹿を包み込んでくれます。同じ住み家でひと冬を過ごし、やがて迎えた春。命の息吹の中、凛々しくなった子鹿の傍らには、テンが静かに眠っています。どうも、テンが叔父のように思えて、哀しいのだけれど、哀しいだけではない、命のリレーのぬくもりを教えてくれた本です。



ワニばあちゃん

おくはらゆめ[作]
理論社 2008

学生課 事務職員 **大和祥子**

<請求記号>

909.3/O 54

ワニばあちゃんと、その鼻の中に住んでいるアリじいちゃんのおはなしです。小学校で何度か読み聞かせに使ったことがあります。抑揚をつけて楽しく読めば、子どもたちも大笑いだと思います。実習などで読み聞かせをする機会によかったら使ってみてください。(低学年向けです。)



水滸伝 1巻～19巻

北方謙三著
集英社 2006～2008

就職課 事務職員 **森明博**

熱い、熱すぎる。本物の大人の男がここには溢れてる

<請求記号>

集英社文庫/き-3-44 ~集英社文庫/き-3-

三国志、水滸伝、楊玲伝、どれでもいいのですが、北方中国歴史ものはどれも素晴らしい。熱く、情熱的で、命を懸けた男達に心が揺さぶられます。この本に出会えてよかったとつくづく思います。



みんなのたあ坊の菜根譚

辻信太郎著
サンリオ 2015

学生課 事務職員 **鷺阪由喜子**

<請求記号>

159/Ts 41

大学生活を送るなかで、落ち込んだり、悲しい気分になる時があると思います。そんなとき、この本をパラパラとめくってみてください。少しは気持ちが落ち着くかも…。かわいいイラスト入りで、「読む」より、「見る」感覚のとても手軽な一冊です。ぜひ一度、手にとってみてください。



大人もぞっとする初版『グリム童話』

由良弥生著

三笠書房

2002

就職課 事務職員

文字典子

<請求記号>

王様文庫/D-12-3

私が大学卒業時に書いた論文のテーマは、『グリム童話変遷の考察～ドイツ生活文化の近代化～』。これを書こうと思ったきっかけになった本です。グリム童話は、計7回の改編を行い、現代にも広く知られているおとぎ話となっていますが、その初版本に集録されている物語は、民間伝承を基にした、かなりセンセーショナルな内容です。初版本を訳したものは他にもありますが、この本には解説もついているので、初めて初版の物語を読んでみようという方にお薦めです。



空中ブランコ

奥田英朗著

文藝春秋

2008

人権教育研究センター
事務職員

首藤晶子

<請求記号>

文春文庫/お-38-2

『イン・ザ・プール』(文春文庫/お-38-1)

『町長選挙』(文春文庫/お-38-3)

ドラマや映画にもなっている小説なので、すでに知っている方もいるかも知れません。連作短編小説集で、『イン・ザ・プール』『空中ブランコ』『町長選挙』の3部作になっています。一風変わった精神科医の伊良部先生といろいろな悩みを抱えた患者さんの何ともおかしい物語。名医なのか？ヤブ医者なのか？よくわからないけど…読んだ後にはなんとなく肩の力が抜け、「これでいいのだ！」と思える1冊です。私が好きなのは「空中ブランコ」の巻ですが、みなさんはどの巻が気に入るでしょうか？



エゾヒグマ百科：被害・予防・生態・故事

木村盛武著

共同文化社

1983

図書館課 事務職員

福島丞

熊に対して「死んだフリ」は有効か？

<請求記号>

489.57/Ki 39

万一熊に襲われた時、「死んだフリ」をすれば助かるのか？未だに曖昧な議論が続いているこの問題については、実のところ、この本によりとっくに答えは出ていると言ってよいと思います。北海道庁林務官であった著者は、ヒグマに襲われながら生還した人を丹念に訪ねて聞き取りを行っています(主に数人でいて1人だけ助かったケース)。そこから導き出された結論は？生死を分けたのは何だったのか？「助かる」、「助からない」、答えはそう単純なものではありませんでした。関連お薦め書：『クマにあつたらどうするか：アイヌ民族最後の狩人姉崎等』(筑摩書房 2014年刊 ちくま文庫)



寺山修司少女詩集

寺山修司 [著]

角川書店

2005

図書館課 事務職員

旭朋代

たまには詩でも読みませんか？

<請求記号>

角川文庫/て-001-012

『なみだは にんげんのつくることのできる 一ばん小さな 海です』宝石のようにきらきらと輝くような美しいことばでつづられた詩集です。悲しくて、切なくて、でもロマンティックで美しい詩がたくさん載っています。「詩は苦手」と言う方もぜひ読んでみてください。不思議な世界に陥ります。